

3月6日

テーマ：苦^{にが}いことば、甘^{あま}いことば

聖書箇所：ヤコブの手紙^{てがみ しょう}3章 1～12節^{せつ}

◆今日のみことば

いずみ あま みず にが みず おな あな あ
泉^{いずみ}が甘^{あま}い水^{みず}と苦^{にが}い水^{みず}を同じ穴^{あな}からわき上^あがらせるというようなことがあるでしょうか。

てがみ しょう せつ
ヤコブの手紙3章 11節

◆メッセージ

きょうのお話^{はなし}は、言葉^{いば}です。同じ口^{くち}から「苦^{にが}い言葉^{いば}、甘^{あま}い言葉^{いば}」が出てくるのはなぜでしょう。苦^{にが}い言葉^{いば}とは、いやだな^{おも}ーと思^{おも}える言葉^{ことば}です。甘^{あま}い言葉^{いば}とは、うれしな^{おも}ー、いいな^{おも}ーと思^{おも}える言葉^{ことば}です。どちらも同じ口^{くち}から出る言葉^{ことば}です。神^{かみ}さまを賛美^{さんび}している口^{くち}で、兄^{きょうだい}弟^{とも}や友^{とも}だちに「バカ^い」と言^いってしまったりしていませんか。どうして、このようなこと^{こと}が私^{わたし}たちに起^おこるのでしょう。どうしたら、このようなこと^{こと}が起^おこらないようにできる^{できる}のでしょうか。

きをつけてなければならぬ^{おも}のは、思^{おも}いです。いつも、どんなこと^{こと}を思^{おも}っているでしょう。思^{おも}っていること^{こと}が言葉^{ことば}になりますね。あいつをやっつけてやろう^{おも}と思^{おも}っていると、やっつけてしまう^{ことば}言葉^{ことば}が出てきます。これが思^{おも}わず出^でて来る^{くる}のですからやっかいです。

思^{おも}っていること^{こと}が神^{かみ}さまに喜^{よろこ}ばれているかな、行^{おこな}って
いること^{こと}が神^{かみ}さまに喜^{よろこ}ばれているかな、と自分^{じぶん}自身^{じしん}の思^{おも}いと
行^{おこな}いを調^{しら}べること^{こと}です。悪^{わる}い思^{おも}いが付^{つき}いたら、思^{おも}いを神^{かみ}さま
まに向^むけてみましょう。聖^{せい}書^{しよ}のことば^{ことば}に合^あわせたり、従^{したが}った
りすること^{こと}によって、神^{かみ}さまに喜^{よろこ}ばれていること^{こと}に気^きが付き
ます。そして仲^{なか}間^ま（友^{とも}達^{たち}）と仲^{なか}良^{よく}くすること^{こと}ができるようにな
りますね。



◆お祈り

「私^{わたし}の言葉^{ことば}がいつも仲^{なか}間^ま（友^{とも}達^{たち}）を慰^{なぐさ}めたり、強^{つよ}めたりする話^{はな}しができますように。そして自分^{じぶん}も神^{かみ}さまを喜^{よろこ}
び、嬉^{うれ}しくなりますように。」

(引退教師 富澤誠治)